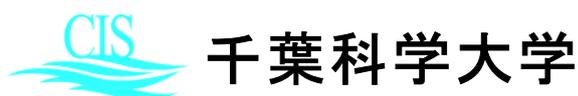


平成23年度 事業報告



「健康で安全・安心な社会」の構築に貢献できる
人材の養成を行う



3.11東日本大震災における危機
対応の経験を教育と大学運営に生
かすことが大切であると考え、ピ
ンチをチャンスに変える努力をし
ました。

学生ひとりひとりの能力を伸ばし、「夢の実
現」を支援するために教職員が一致団結する
よう種々努めました。

また、次世代を地域で育てて教育するとい
う「知育地就」の教育サイクルの確立を目指
して、地域との関わりを深め、地域に根ざし
た大学としての存在感を高めるよう努力しま
した。

具体的には

ボランティアセンターを24年度に設置しま
す。学部間の壁を取り除くために共通基礎教
育を全学共通として24年度入学生より実施し
ます。

2つの学部に分散している動物系の教育体制
を一本化するために、危機管理学部に動物危
機管理学科を設置し、新入生を迎え入れます。

千葉科学大学 学長 赤木 靖春

教学関係

■大学の目的、各研究科、各学部の目的

学園建学の理念に基づき、大学の目的を教育で
は『健康で安全・安心な社会の構築』に寄与でき
る人材の育成、研究では『健康で安全・安心な
社会の構築』の探求、社会貢献では‘地域と共生
する大学づくり、平和で文化的な地域づくりへ参
画’と定め、実施しました。

各研究科各専攻においては教育研究上の目的を
それぞれ定め、各学部各学科もそれぞれ教育目標
を設けて、それに向かって実施しました。

■教育課程再編成による教育内容の充実

昨年度の大学基準協会による外部評価、自己評
価を経て、学生の質の向上、キャリア教育とも連動
した一般基礎科目、学部共通科目を検討整理し、学
生にとって有用で、効率のよいカリキュラムに再
編成しました。また専攻科目についても平成24年
度の学科新設に合わせて、既設学科のカリキュラ
ムを見直し、科目内容、科目数など学生にとって無
理のないカリキュラムを検討いたしました。

■教員免許状更新講習の実施

地域からの要望もあり、昨年引き続き教員免
許状更新講習を実施しました。

講習科目

必修領域1講座 8月6日～7日（12時間）

「教育の最新事情」

選択領域9講座 8月8日～10日（1日4講座を3日実施）

- 「薬と人間」
- 「防災教育と救急救命」
- 「銚子ジオパークのジオサイトを利用した体験型授業の展開」
- 「コンピュータ・シミュレーション体験実習」
- 「学校のリスク・危機管理研究」
- 「対人関係の心理学」
- 「理科指導の体験実習講習①物質の加熱・冷却変化の観察」
- 「成績処理に使える統計・役立つ情報」
- 「学校薬剤師の仕事」
- 「理科指導の体験実習講習②遺伝子研究の現在」

教育・学生支援事業

■学生支援推進プログラム

平成21年度から3年間の計画で採択された、文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムへの取組を継続いたしました。

取組は以下の6つの柱で構成していますが、今年度も⑤の銚子周辺企業との連携強化に重点を置き、企業訪問、地元企業との交流会、地元就職希望者への企業説明会・バスツアーなどを実施いたしました。

- ①全学キャリア支援カリキュラムの整備
- ②個別面談指導の強化
- ③就職関連情報提供システムの運用
- ④内定取消等の学生への支援体制整備
- ⑤地元企業との連携強化
- ⑥学内合同企業説明会、企業との情報交換会

■今年度の教育・学生支援事業への申請

大学生の就業力育成支援事業へは危機管理学部からキャリア関連科目を踏まえて申請しました。

■未来経営戦略推進経費

私立大学等経常費補助金特別補助において、経営改善に向けた取組を対象とした「未来経営戦略推進経費」に採択されました。

申請・届出関係

平成24年度より薬学部、危機管理学部に新たな学科・コースを設置、大学院博士課程には新たな専攻を設置する申請を行いました。

平成24年度

平成23年度

大学院

薬学研究科

薬科学研究科

薬学専攻博士課程

薬科学専攻博士課程(後期)

薬科学専攻博士課程(後期)

薬学部

生命薬科学科

生命薬科学科

創薬科学コース

創薬科学コース

化粧品科学コース

化粧品科学コース

動物生命薬科学コース

危機管理学部

環境危機管理学科

動物・環境システム学科

理科教員コース

動物学コース

環境科学コース

マリンバイオコース

環境科学コース

動物危機管理学科

ヒトと動物の共生コース

動物福祉コース

就職活動支援

学生に対する就職支援、キャリア支援、各種資格取得支援、就職先企業の開拓などを行っております。特に、地元出身学生の増加に合わせて、地元企業に重点を置いて開拓しております。

また、平成21年度採択された学生支援推進プログラムについて、平成23年度も継続して実施

しております。

■就職支援

3年次生を対象に、就職活動を進める上で必要なテーマを取り上げる就職ガイダンスや、様々な業界を知る業界セミナーを学内で開催します。また、3年次生（薬学科は5年次生）全員との個人面談を実施し、個別指導を行いました。

■インターンシップ

企業等に学生を派遣するインターンシップに取り組み、夏期休暇中に1～2週間の就業体験を実施しました。

■合同企業説明会

採用担当者と本学学生がブース別に面談する合同企業説明会を2回（12月、2月）学内で開催しました。

■キャリア支援

キャリア支援講座やビジネスマナー講座などを開講し、自己理解やコミュニケーションの重要性などを学生に伝えていきました。

■公務員試験対策

2月から3月にかけて公務員採用試験の筆記対策として基礎講座（主に1・2年次対象）、実践講座（3年次対象）を開講しました。また、面接対策セミナーを実施しました。

業者主催公務員模擬試験を学内で実施しました。

■各種資格取得支援

防災士、危険物取扱者、秘書検定、潜水士などの試験対策講座を開講し、資格取得試験を学内で実施しました。

■就職先企業開拓

様々な業種の企業を新たに訪問し、就職先の開拓を行い、特に銚子市周辺の地元企業の開拓に努めました。また、加計グループ5大学1短大共催

の企業懇談会（東京、大阪、広島）に参加し、採用依頼を行いました。

学生募集

日本初の危機管理学部を擁することを強みに、危機管理、安全管理の素養を身に着けた人材育成をキャッチフレーズに両学部をアピール、また消防官、警察官など公務員に強い大学も強調して、学生募集を行っていきます。また今までの学生募集の結果、定員を下回っている現状を鑑み、新たな視点を持つての学生募集を行って行きました。

学生、保護者及び高校の満足度充実に努めるべく、大学・地域へ貢献した学生への表彰制度（金・銀・銅のメダルおよび表彰状授与）を設置し、被表彰の保護者及び出身高校校長への受賞のお知らせを行い本学の取り組みを理解していただき、満足度の向上に努め、また地域の満足度向上をめざし、銚子・銚子東・旭ロータリー所属のロータリアンを卒論の発表時に招待し、本学の教育内容をより深く理解していただける機会を設けました。

■地元銚子市をはじめ、千葉県、茨城県の通学圏の高校に対する広報活動の強化

通学圏内（60km内）の高校については、最重点校と位置づけ、高校訪問・出張講義・オープンキャンパス動員等の活動をより強化し、安定した入学者確保に努め、鹿島神宮（茨城）一本学間（利根川北側）のスクールバス運行を行い、学生の利便性向上とPRの拡大を図りました。また、入学式・卒業式など本学と地元高校の学校行事に教職員が参加し合える体制を作っていました。

■東北地方など支局長による広報活動の強化

今後、志願者増が望めそうな地域、特に薬学部がない秋田県や山形県など東北地方を中心に支局長を新たに配置して、広報活動を強化しました。

■教育提携校締結の拡大と関係強化

現在14校+3校との協定を結んで、新たに東総地区の高校との提携（^{そうき}匠瑳高校）を手始めとして、東日本の受験実績が継続している指定校との教育提携を強化していきました。また現在締結している提携校に対しては、出張講義、オープンキャンパス動員は勿論、PTA総会等への働きかけも行ってまいりました。また、入学式・卒業式などお互いの学校行事に教職員が参加し合える体制を作っていました。

■出張講義の拡大と内容の充実

進学説明会と並び、学外において高校生と直接話が出来る出張講義は、年々実施回数を増やしています。今後は話す内容を教員と検討し、「高校生に夢を持たせる」内容で、多くの高校生に本学の良さを伝えていきました。

■留学生の募集充実

国際交流の観点と少子化など将来を見据えて留学生の募集充実を目指し、具体的には毎年50名程度の留学生を考えています。特に本学薬学部への大韓民国留学生募集に重点を置き、募集の充実に努めました。

■E-広報の充実

本学ホームページの内容やユーザビリティをさらに充実するとともに、各業者の主力なWeb企画と連動することで、様々な受験者層に働きかけ、資料請求者の拡大を図り、また資料請求者へタイムリーにメルマガを発信することにより、志願者のアップにつなげていきました。

■オープンキャンパスの充実

両学部が共同して行った災害救助演習などの企画の成果もあり、昨年度は開学以来最高の動員数となりました。今年度も参加した高校生に「この大学で、この研究室で、こんな研究をしたい」という夢を持たせるための内容を検討し、「見せる」内容をより充実したものに変更しました。

■その他

1)合格者へのアプローチ強化

入学前に合格者やその保護者を集い、ミニキャンパスツアーを開催しました。大学の案内や質疑応答をおこない、PRやサービスを通じて本学への理解を深め、入学者への歩留まりアップを図りました。

2)地元の各種団体との連携

市役所等とのタイアップにより、市庁舎への垂幕掲載などにより市民の本学に対する理解を深めます。また、公開講座の開催などにより地域貢献にも努めました。

3)県人会による在學生出身高校との関係強化

学友会に県人会を組織したことに伴い、県会に各県訪問担当者を配置し、在學生と親密な関係を持つことが出来るようになりました。出身高校との関係を強化して、顔の見える広報活動、高大一貫した教育活動を行いました。

4)高校との親密な関係の構築

在學生と教員とで、学生の母校（担任）を訪問し、高校に親近感を持たせることで、志願者数増に取り組みました。

5)常時学内を見学できる体制の整備

各学部エントランスに学科の概要、研究室前廊下には研究内容を表したパネルを設置して、いつでも誰が来てもPRできるように整備しました。

6)各訪問高校別カルテ作成

高校訪問担当者の変更があっても各高校のデータが引き継がれるように各県別各訪問高校別にカルテを作成しました。

7)県別目標入学者数設定による意識の向上

各高校訪問担当者に各県ごとの目標入学者数（ノルマ）を設定して、担当者の意識を喚起することで志願者数増、入学者の確保に努めました。

■ ボランティア活動

23年度の活動としては、本学の学生消防隊、スターラビッツの隊員及び一般学生有志並びに引率教職員、事務職員（計41名）によるボランティア活動が、東日本大震災の被災地にて行われました。

夏季休暇の期間中4期に分けて岩手県遠野市を拠点として活動されているNPO法人遠野まごころネットが主催するボランティア活動に加わり、各期とも3～4日間の滞在期間中に瓦礫撤去、清掃作業、写真修復、被災者住民とのコミュニケーションなどの活動に従事しました。

主な行事

4月 4日	在学前期オリエンテーション
4月 7日	入学宣誓式
5月29日	オープンキャンパス
7月30～31日	オープンキャンパス
7月28日 ～8月10日	前期定期試験
8月6～10日	教員免許状更新講習会
8月27日	オープンキャンパス
9月10日	教育進路懇談会（地方）
9月17日	後期オリエンテーション
9月18日	教育進路懇談会（本学）
10月 1日	オープンキャンパス
11月12～13日	青澄祭（大学祭）
12月17日	合同企業説明会
1月25日 ～2月 7日	後期定期試験

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成23年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		取容定員	在学者数			秋期入学 ※	
			留学生	社会人		留学生	社会人			
大学院	薬科学研究科（博士）	5	3	0	0	10	6	0	0	0
	薬科学研究科（修士）	10	11	0	0	20	19	0	0	0
	危機管理学研究科（博士）	3	1	0	0	6	2	0	0	0
	危機管理学研究科（修士）	5	8	5	0	10	19	7	0	0
	大学院 計	23	23	5	0	46	46	7	0	0
薬学部	薬学科（6年制）	120	77	4	0	915	673	12	7	0
	薬科学科 (募集停止)	—	—	—	—	80	45	0	0	0
	動物生命薬科学科 (募集停止)	—	—	—	—	80	49	0	0	0
	生命薬科学科	50	21	1	0	100	57	3	0	0
	計	170	98	5	0	1,175	824	15	7	0
危機管理部	防災システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	55	29	6	0	0
	環境安全システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	95	65	10	0	0
	危機管理システム学科	100	117	31	0	375	374	105	0	0
	動物・環境システム学	60	46	2	0	185	131	16	0	0
	医療危機管理学科	80	93	0	0	265	248	3	0	0
	航空・輸送安全学科	40	18	3	0	80	34	11	0	0
計	280	274	36	0	1,055	881	151	0	0	
学部 計		450	372	41	0	2,230	1,705	166	7	0
総合計		473	395	46	0	2,276	1,751	173	7	0
留学生別科		40	13	13	0	40	25	25	0	0

※ 秋期入学については、5月2日以降（平成23年5月2日～平成24年3月31日）に入学した者（単位：人）

■卒業生数等一覧

(平成23年度)

区分	修了者・ 卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	16	8	8	100%	2	5	4	1
学部	276	193	171	89%	12	73	38	52

※ 修業年限を超えて在籍している学生数（平成24年4月1日現在）

(単位：人)

主な就職先	アイングループ、くすりの福太郎、杏林製薬、日本ペーリカール・インゲルハム、慶應義塾大学病院、東京消防庁、警視庁、陸上自衛隊幹部候補生・航空自衛隊幹部候補生他
-------	--

■教職員数

(平成23年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員 計	事務職員
1	1	55	22	14	10	3	1	107	47

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

年度 科目	23年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	2,741,435	2,606,722
補助金収入	695,499	386,085
その他収入	205,645	76,709
帰属収入合計	3,642,579	3,069,516
基本金組入額合計	△ 15,635	△ 295,907
消費収入の部合計	3,626,944	2,773,609
人件費	2,244,762	1,825,436
教育研究経費	1,515,771	1,267,752
管理経費	466,870	368,722
その他支出	22,239	4,346
消費支出の部合計	4,249,642	3,466,256

※人件費に退職給与引当金特別繰入額を計上しています(14頁参照)

■東日本大震災災害復旧事業

東日本大震災により、被災した施設・設備の復旧を行いました。

総事業費：337,174千円

補助金額：168,587千円

■施設設備整備（抜粋）

(単位：千円)

事業名	金額
3号館改修工事 約188㎡ 薬学部薬科学科化粧品コース実験室確保のため	7,100
4号館改修工事 約144㎡ 危機管理学部のゼミ室を共同ゼミ室として有効に使用するため	900
健康管理センター 防音対策工事	1,100
両替機	315
公用バス	3,537
薬学部化粧品コース実習用機器	15,800
実習用機器	19,581
大型印刷機	298
学生食堂、喫茶棟厨房機器	15,126
学生食堂券売機	1,600
薬学部実習用機器 (補助内定額：2,475)	6,668